

環境保健部・商工労働部

名 称：東保健指導所
所 在 地／東村字平良471-24
工 期／昭和61年8月25日～昭和61年12月22日
構 造／鉄筋コンクリート造（2階建）
延 面 積／122.55m²
設 計／テカソネー級建築設計事務所
総工事費／23,800千円
施 工／建築：南山口建設
設備：池田電気工事社



名 称：沖縄食肉衛生検査所変電室
所 在 地／大里村大里205
工 期／昭和62年2月13日～昭和62年3月26日
構 造／補強コンクリートブロック造（平屋建）
延 面 積／30.0m²
設 計／橋建築設計事務所
総工事費／4,800千円
施 工／大盛建設



名 称：沖縄県工芸指導所木材乾燥場
所 在 地／南風原町照屋211-215
工 期／昭和61年8月9日～昭和61年10月7日
構 造／鉄骨造（平屋建）
延 面 積／82.37m²
設 計／テルヤ設計事務所
総工事費／4,000千円
施 工／南宮昌工業



農林水産部



名 称：北部放飼センター
所 在 地／名護市名護460E-3
工 期／昭和61年11月1日～昭和62年2月13日
構 造／軽量鉄骨造（平屋建）
延 面 積／142.56m²
設 計／シオン建築設計事務所
総工事費／34,206千円
施 工／建築：南小浜組
電気：新沖縄電機株式会社
衛生：針瀬電水工事社

ウリ類の害虫であるウリミバエの根絶を目的とした事業の一環として、施設整備は昭和55年度にウリミバエ大量増殖施設本館が竣工して以来、不妊化施設、宮古、八重山放飼センターの設置と整備が行われてきた。当放飼センターは、ミバエ事業所で生産され、不妊化されたウリミバエを冷凍麻酔しバック詰めを行って、各地区に放飼する作業を行なう施設である。建物の前面にあるのは冷凍庫のコンテナである。



名 称：畜産試験場氣密サイロ
所 在 地／今帰仁村字諸志2009-5
工 期／昭和61年9月19日～昭和62年1月16日
構 造／鉄骨造（全面グラスコーティング）
延 面 積／111.54m²
設 計／具志堅建築設計事務所
総工事費／31,478千円
施 工／嘉陽組

当該施設は県道71号線より南に約2kmに位置し週辺は山野畑で静かな所である。敷地は広々としており、畜産関係の施設として最も良い環境である。



名 称：水産試験場栽培漁業センター
所 在 地／本部町字大浜853-1
工 期／昭和61年11月1日～昭和62年3月20日
構 造／鉄骨造（平屋建）
延 面 積／774.82m²
設 計／株同吉設計
総工事費／77,500千円
施 工／建築：仲間建設
電気：東北電工
機械：㈲丸進設備

栽培漁業用の施設整備事業の一部である。鉄筋コンクリートの円形水槽100t2基、50t4基を設置し、加温設備一式と鉄骨上屋を新設した。軟弱地盤のため、既設の水槽に与える影響を考慮して、地盤工事はトップベース工法（マイ独楽）を採用した。また、塙害を防止するため鉄骨は溶接アームメキ仕様としている。

整備事業の開始以来、沿岸の漁獲高も向上し、施設完成後の研究に一層の成果が望まれている。

名 称：農業試験場園芸支場野菜花き育種実験室
所 在 地／具志川市字兼ヶ段76
工 期／昭和61年10月1日～昭和62年2月27日
構 造／鉄筋コンクリート造（2階建）
延 面 積／310.16m²
設 計／宮建設設計
総工事費／53,470千円
施 工／建築：関丸順組
電気：南具志川電気工事社
機械：株式会社設備工業



建築場所は、農業試験場の広大な敷地内で南側には兼ヶ段城跡があり、北側は金武・宜野座の山並が遠望できる緑に囲まれた良好な環境にある。本建物は既設本館の裏への増築であら本館との繋ぎには留意した。建物内部1階の展示室は暗幕用ブライントを設置し、展示はもちろん集会・映写も可能なように配慮した。2階は野菜と花きの実験室を配し、前述の山並を眺めながら研究できる快適な場となっている。

名 称：農業試験場八重山支場作物生理生態実験ガラス室
所 在 地／石垣市字平得1178-6
工 期／昭和61年10月1日～昭和62年1月28日
構 造／鉄骨造（平屋建）
延 面 積／158.0m²
設 計／洲錦建築設計事務所
総工事費／16,776千円
施 工／建築：友利建設
設備：佐久本商会



当施設は県の主要産業であるサトウキビの生育に関する研究のための実験室であり、設計は雨仕舞や、病害虫の侵入を防ぐため気密性の高い建物とした。

名 称：農業試験場八重山支場水稻品質実験室
所 在 地／石垣市字平得1178-6
工 期／昭和61年10月1日～昭和62年1月28日
構 造／鉄骨造（平屋建）
延 面 積／170m²
設 計／也城建築設計事務所
総工事費／17,717千円
施 工／建築・設備：前木組



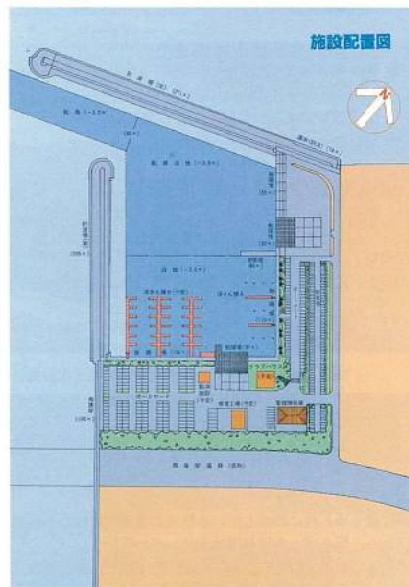
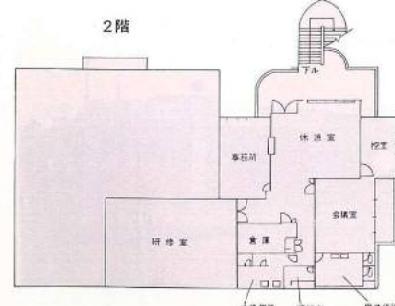
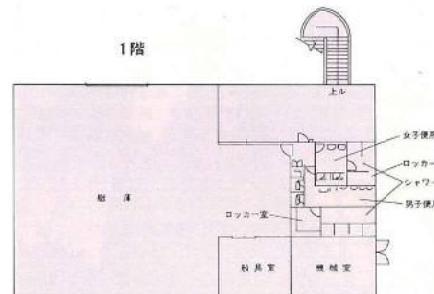
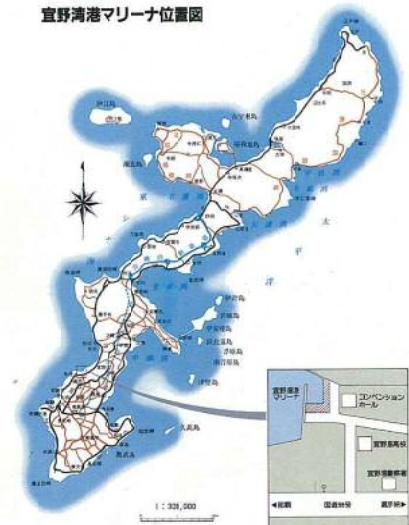
当施設は島内で生産されている稲の生育等に関する研究棟である。設計では、稲の乾燥のための通風、雀・ネズミの侵入防止について配慮した。

土木建築部

名 称：宜野湾港マリーナ
所 在 地／宜野湾市真志喜地先
工 期／昭和61年10月1日～昭和62年3月26日
構 造／鉄筋コンクリート造（2階建）
延 面 積／736.15m²
設 計／㈱イクセル建築設計事務所
総工事費／119,846千円
施 工／建築：㈲桃原建設
電気：㈲新琉電工
機械：㈱琉球エンジニア



宜野湾港マリーナ位置図



この施設は、昭和62年開催の「海邦国体」ヨット競技の会場として使用された。今後の沖縄県の観光振興と海洋レクリエーション、及び青少年の海洋スポーツと海洋思想の普及のために大いに役立つことが期待されている。

3. 住宅関係(住宅課)



名 称: 県営真玉橋市街地住宅
所 在 地: 豊見城村字真玉橋228-2
工 期: 昭和59年12月25日～昭和62年3月25日
構 造: 鉄骨鉄筋コンクリート造(10階建)
延 面 積/敷地面積: 19,303.15m²
建築面積: 13,107.26m²
戸 数: 287戸
設 計: 1期 岡松田・睦設計事務所・㈲東設計工房JV
 2期 ㈲現代建築設計事務所・富士工務店JV
総工事費: 3,169,989千円
施 工/建築: 島大継組・日進建設㈱・丸善建設㈱JV
 他社
 電気: 新星電気工事㈱・マエダ電気工事㈱・
 横畠電気JV 他5社
 機械: 岡宮城製作所・㈲協進設備・岡三星設備
 JV 他社
 その他: ㈲吉田開発・㈲仲川建設JV 他14社



県立豊見城高校に隣接している敷地に、高層建物が3棟建設された。集会室と幼稚園は連続しており、戸戸からも見やすいよう配置している。また、近くの干潟では野鳥の観察もでき、干潟側の建物の1F部分にはビロティを設計し、通り抜けと干潟の団地内空間へのつながりに配慮した。
 この地は、昔から区民が親しんだ「知念森」という由緒ある所で、昔の設置の完成後も、敷地の一角に残された洋式が利用されている。



名 称: 県営西崎第二団地
所 在 地: 美ら市西崎町3-7-9
工 期: 昭和59年12月26日～昭和61年7月14日
構 造: 鉄筋コンクリート造(壁式)3階建及び
 鉄骨鉄筋コンクリート造(9階建)
延 面 積/敷地面積: 24,510m²
建築面積: 3,885.29m²
延床面積: 12,393.99m²
戸 数: 183戸
設 計: 実建建築研究所(中層標準設計)
 (㈲永田建築設計事務所(高層・その他)
 沖縄県土木建築部住宅課(配置計画等)
総工事費: 1,743,380千円
施 工/建築: ㈲比嘉建設㈱・㈱三健建設・㈲丸勇組JV
 他10社
 電気: 石川電気工事㈱・㈱総合設備JV 他7社
 機械: ㈲第一設備・㈱浜水道設備・長嶺設備社
 JV 他7社



この敷地は埋立地の一角にあり、道路を隔てて海に面している。建物は高層1棟、中層7棟からなり、駐車スペースも各棟にバランスよく配置されている。小学校や市の運動公園が近くにあるうえ、団地内にも 2,150m²の幼稚園が設けられており、集合場とともに、子供たちに活用されている。

名 称: 県営比謝団地
所 在 地: 谷谷村比謝33E-1
工 期: 昭和60年10月1日～昭和62年1月24日
構 造: 鉄筋コンクリート造(壁式)(5階建)
延 面 積: 敷地面積 6,477.09m²
 建築面積 1,639.17m²
 延床面積 6,459.76m²
 戸数: 100戸
設 計: 究建築研究所
 沖縄県土木建築部住宅課
総工事費: 建築: 楽福建設 他3社
施 工: 電気: 楽比謝川電機 他3社
 機械: 御共合工業 他3社
 その他: 日進建設㈱ 他6社



名 称: 県営経塚市街地住宅
所 在 地: 浦添市経塚560
工 期: 昭和65年10月19日～昭和66年7月14日
構 造: 鉄骨鉄筋コンクリート造(10階建)
延 面 積: 敷地面積 6,402.37m²
 建築面積 1,386.51m²
 延床面積 9,322.43m²
 戸数: 130戸
設 計: 株浦崎設計事務所・南洋設計 JV
総工事費: 1,463,400千円
施 工: 建築: 共和産業㈱・株照正組・株福建設JV
 電気: (株)大洋電気商会・(株)日本電設・(株)東江電気
 設備JV
 機械: ヤシマ工業㈱・南上野設備・株金吉設備工業JV
 その他: 光電気工事㈱ 他5社



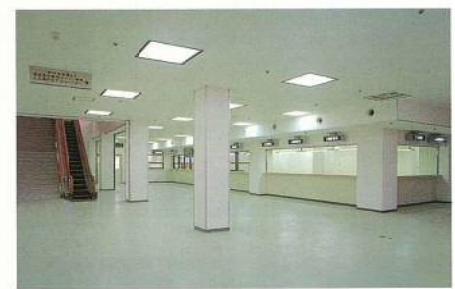
名 称: 県営浜原団地
所 在 地: 沖縄市字与儀607
工 期: 昭和60年3月30日～昭和61年8月9日
構 造: 鉄筋コンクリート造(壁式) (4階建)
延 面 積: 敷地面積 18,780.00m²
 建築面積 2,321.48m²
 延床面積 6,702.87m²
 戸数: 104戸
設 計: 究建築研究所
 沖縄県土木建築部住宅課
総工事費: 988,034千円
施 工: 建築: 濱元工務店・昭和システム産業JV 他6社
 電気: 大和電気工事社 他4社
 機械: 御中部設備工業 他4社
 その他: 琉球設備工業㈱ 他4社



4. 病院関係(病院管理局)



名 称: 沖縄県立那覇病院
所 在 地: 那覇市与儀1-3-1
工 期: 昭和61年7月26日～昭和62年3月29日
構 造: 鉄骨鉄筋コンクリート造(地上13階、地下1階)
延 面 積: 27,139.32m²
設 計: 設備研究所
総工事費: 1,432,070千円
施 工: 建築: 楽比嘉建設・株金秀鉄工JV
 電気: (株)那覇電工・株紫電JV
 空調: 沖縄日立商品㈱・(株)琉球エンジニアJV
 衛生: 琉穂建設工業㈱・沖縄水質改良㈱JV
 异常発見: 沖縄日立エレベータ㈱
 医療ガス: 株オカノ



当病院は、旧琉球大学医学部附属病院を改修整備したものであり、那覇市を中心とする地域（周辺離島を含む）の中核病院として機能することを目的としている。



名 称: 沖縄県立宮古病院看護婦宿舎
所 在 地: 平良市字東仲宗根807
工 期: 昭和61年8月25日～昭和62年2月20日
構 造: 鉄筋コンクリート造(2階建)
延 面 積: 1,183.60m²
設 計: 山巨賀徳建築設計事務所
総工事費: 44,019千円
施 工: 建築: 平良土建
 電気: 朝日電気工事社
 機械: 宮古電気水道工事社

5. 教育関係(教育庁施設課)



名 称：沖縄県立那覇西高校

所 在 地／那覇市小禄金城 108

工 期／昭和61年9月3日～昭和62年3月20日

構 造／鉄筋コンクリート（3階建）

延 面 積／10,171m²

設 計／株近代設計事務所

　　株渡久山設計事務所 JV

総工事費／1,458,300千円

施 工／建築：株小波津組

　　株大旭建設 JV 他5社

電気：照屋電気工事社 他4社

衛生：(株)宮城製作所 他4社



当高校は、那覇市効外の県及び市営団地等が計画されている閑静な環境にあり、特別教室施設を充実した本県唯一の国際人文科及び体育科を設置した学校である。

